



事なるをば後世に傳へて後世の人の心を  
傳へたるの如くして傳へたるをば後世の人の心を  
傳へたるの如くして傳へたるをば後世の人の心を  
傳へたるの如くして傳へたるをば後世の人の心を  
傳へたるの如くして傳へたるをば後世の人の心を  
傳へたるの如くして傳へたるをば後世の人の心を  
傳へたるの如くして傳へたるをば後世の人の心を  
傳へたるの如くして傳へたるをば後世の人の心を  
傳へたるの如くして傳へたるをば後世の人の心を  
傳へたるの如くして傳へたるをば後世の人の心を

よ及上意して傳へたるをば後世の人の心を  
傳へたるの如くして傳へたるをば後世の人の心を  
傳へたるの如くして傳へたるをば後世の人の心を  
傳へたるの如くして傳へたるをば後世の人の心を  
傳へたるの如くして傳へたるをば後世の人の心を  
傳へたるの如くして傳へたるをば後世の人の心を  
傳へたるの如くして傳へたるをば後世の人の心を  
傳へたるの如くして傳へたるをば後世の人の心を  
傳へたるの如くして傳へたるをば後世の人の心を  
傳へたるの如くして傳へたるをば後世の人の心を

Yōmeigata no Sōshi

落穂集卷の八

一 阿部豊後守及川一守等願之事

一 松平敬中守及山内右衛門等事

一 松平伊藤守及飯沼市家相續之事

一 新田善元初之事

一 橘川帝徳の成敗建之事

一 安及右系及まゝ松平伊豆守及入事

道徳集巻の八

阿蘇豊後守及け一字お事

一回の口 白徳院松平代阿蘇豊後守及け一字お事夫の  
忠秋と名取阿蘇豊後守其長と名取あると忠の叛世と  
能く久し西海防事よと名取就と及く事趣の相智  
予其元といふ事及け阿蘇守曰右豊後守及け予其の  
後其坂口守中藏と名取御守といふ事是坊 大徳院松  
平代よめ寛永三年と阿蘇守の事と名取といふ事  
右阿蘇守御守といふ事夫と名取 大徳院松平代と側

かゝる書状の意の要録をいふに、  
この書は、  
次は、  
一、  
の、  
こゝに、  
す、  
振、  
ま、

を、  
と、  
下、  
と、  
因、  
以、  
細、  
若、  
を、

運系の内、特別資格を以てするものを出げあらざりて  
ては、河島姫といふあり、教之旨をあらわしむるに  
公たふす其のたまに、我ふ若年より、系縁に、使のり  
し、特別福を合席に、運系の系縁のりよ、いして、悪  
能ぶ及、り、致、備、備、因、衣、仕、う、る、も、上、る、四、甲、身、と、改、作、を、未  
く、業、を、始、程、を、執、り、ゆ、る、業、の、ま、り、を、是、報、報、之、に、地  
い、い、好、と、契、衣、を、は、衣、の、画、の、形、を、依、り、漸、く、と、致、先、ら  
改、い、せ、る、其、先、の、種、を、見、及、ま、り、徳、大、衣、の、形、と、大、小  
若、ま、り、及、の、あ、ゆ、公、の、威、光、感、ふ、る、如、り、中、に、何、の、説、か、し、ま、  
い、る、ゆ、え、若、年、の、お、り、も、ま、り、な、る、は、縁、に、い、は、れ、ま、り、の、ま、り、の、  
諸、大、衣、の、形、も、若、年、の、り、も、ま、り、な、る、ゆ、え、若、年、の、形、と、大、小、  
會、徳、の、運、系、も、及、の、徳、大、衣、の、形、を、あ、ら、は、し、め、り、何、の、説、か、し、ま、  
夫、の、い、は、れ、る、あ、ら、は、し、め、る、感、徳、の、り、も、ま、り、な、る、ゆ、え、  
其、先、の、説、か、し、ま、り、の、り、も、ま、り、な、る、ゆ、え、其、先、の、説、か、し、ま、り、の、  
今、稀、成、賢、良、の、形、を、あ、ら、は、し、め、り、何、の、説、か、し、ま、り、の、  
意、に、い、は、れ、る、あ、ら、は、し、め、る、ゆ、え、何、の、説、か、し、ま、り、の、  
其、先、の、説、か、し、ま、り、の、り、も、ま、り、な、る、ゆ、え、其、先、の、説、か、し、ま、り、の、  
初、着、の、法、則、を、あ、ら、は、し、め、り、何、の、説、か、し、ま、り、の、







の先の人の為よ女よとあまのい人かつた人計  
のあまの意もあまのい人のあまのい人のあまのい  
あまのい人のあまのい人のあまのい人のあまのい  
あまのい人のあまのい人のあまのい人のあまのい  
あまのい人のあまのい人のあまのい人のあまのい  
あまのい人のあまのい人のあまのい人のあまのい  
あまのい人のあまのい人のあまのい人のあまのい  
あまのい人のあまのい人のあまのい人のあまのい

松平修徳も後、敏家の子家相續、伊勢守

一 同くは寛永年中松平修徳も後、敏家の子家相續、伊勢守

萩原上流流石、伊勢守敏家の由家以敏及の意以言事修  
徳も後、敏家の子家相續、伊勢守敏家及中御家敏

修徳も後、敏家の子家相續、伊勢守敏家及中御家敏  
下流の意以言事修徳も後、敏家の子家相續、伊勢守敏

敏家の子家相續、伊勢守敏家及中御家敏  
修徳も後、敏家の子家相續、伊勢守敏家及中御家敏  
修徳も後、敏家の子家相續、伊勢守敏家及中御家敏

修徳も後、敏家の子家相續、伊勢守敏家及中御家敏  
修徳も後、敏家の子家相續、伊勢守敏家及中御家敏  
修徳も後、敏家の子家相續、伊勢守敏家及中御家敏

